

平成29年度第1回江別市学校給食会理事会議事録

日 時	平成29年6月29日（木）15時00分～15時59分
場 所	江別市立学校給食センター 研修会議室
出席理事	野田理事長、渡部副理事長、長谷川監事、松下監事、甲斐理事、酒井理事、大野理事、服部理事（8名）
欠席理事	泉山理事、横山理事、野澤理事（3名）
事務局	鈴木事務局長、森山事務局次長、鈴木事務局員（3名）
傍聴者	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 役員（監事）の選出 3. 委嘱状の交付 4. 理事および職員の自己紹介 5. 理事長挨拶 6. 議事 <ul style="list-style-type: none"> 報告事項第1号 平成28年度江別市学校給食会計決算について 報告事項第2号 平成28年度江別市学校給食会運営事務会計決算について 会計監査報告 7. その他 8. 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度江別市学校給食会計決算書（収入） ・資料1 平成28年度江別市学校給食会計決算書（給食費収入現年度分） ・資料2 過年度分給食費年度別納入状況調書及び不納欠損処分内訳調書 ・平成28年度江別市学校給食会計決算書（支出） ・平成28年度江別市学校給食会運営事務会計決算書（収入） ・平成28年度江別市学校給食会運営事務会計決算書（支出） ・監査報告書 ・平成29年度江別市学校給食費算定資料

▼会議内容

【開会】

○事務局長

ただ今から、平成29年度第1回江別市学校給食会理事会を始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、当理事会にお集まりいただきましてありがとうございます。また、この度は、各機関・団体からの推薦により、給食会理事をお引き受けいただきましたことに対し、お礼を申し上げます。

私は江別市学校給食会の事務局長を務めております、鈴木と申します。どうぞよろしくお願いたします。また、隣は、森山事務局次長、その左隣は、鈴木事務局員でございます。

江別市学校給食会は、理事11名をもって組織されており、市立小・中学校における学校給食事業の円滑な運営を図ることを目的としております。今年度は、理事の改選期に当たっており、再任の理事が4名、新任の理事が7名となっております。本日の議事につきましては、報告事項が、平成28年度江別市学校給食会計ほか2会計の決算について、及び会計監査報告となっておりますので、よろしくご審議をお願いいたします。

なお、学校給食会理事会は、会則第9条第2項において、理事の過半数の出席を持って成立することとなっておりますが、現時点で、11名のうち、7名の出席がありますので、理事会が成立しておりますことをご報告いたします。

それでは次第に従いまして進めさせていただきます。

【役員（監事）の選出】

○事務局長

先ほど申しあげましたように、今回は理事の改選期ということで、まず役員を選出をお願いいたします。役員は、給食会会則第5条によりまして、理事長1名、監事2名を理事の互選で選出することとなっております。副理事長1名は、教育部長をあてるとされておりますので、渡部教育部長に就任していただきます。

最初に理事長ですが、どなたかご提案はございますか。

なければ、事務局案としまして、野田公一理事に引き続きお願いしたいと思います。理事の皆さんいかがでしょうか。

賛同いただけましたら、拍手をお願いいたします。

（拍手）

○事務局長

それでは、野田公一理事に理事長をお願いいたします。

（酒井理事到着）

次に監事ですが、事務局案としまして、おひとりは江別消費者協会の松下理事に、もうおひとりは、江別市PTA連合会から選出された長谷川理事にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

賛同いただけましたら、拍手をお願いいたします。

（拍手）

○事務局長

それでは松下理事、長谷川理事に監事をお願いいたします。

恐れ入りますが、野田理事長は理事長席に、渡部副理事長は副理事長席にお移りください。

（野田理事長、渡部副理事長、理事長席、副理事長席に移動）

【委嘱状交付】

○事務局長

それでは、これより、野田理事長から委嘱状を交付していただきます。

（渡部理事、甲斐理事、酒井理事、松下理事、大野理事、服部理事、長谷川理事に委嘱状を交付）

なお本日、所用で欠席の泉山理事、横山理事、野澤理事には、後日、本人へ交付いたします。

【委員自己紹介】

○事務局長

それでは、新任の理事もいらっしゃいますので、甲斐理事から半時計回りの順に自己紹介をお願いし、6名が終わりましたら、最後に野田理事長と渡部副理事長、ご挨拶をお願いいたします。

(委員自己紹介)

○理事長

理事長を仰せつかりました野田です。よろしくお願いいたします。理事長を務めて10年になります。教員を退職して8年になります。よろしくお願いいたします。

○副理事長

副理事長を仰せつかりました教育部長の渡部と申します。よろしくお願いいたします。

○事務局長

野田理事長、渡部副理事長ありがとうございました。

【資料確認】

○事務局長

ここで、まず、事前にお配りした資料の確認をさせていただきます。

本日使用する資料は、

- ・次第
- ・学校給食会理事名簿
- ・ホチキス止めしております裏表6ページ「・平成28年度江別市学校給食会計決算書（収入）、・資料1平成28年度江別市学校給食会計決算書（給食費収入現年度分）、
- ・資料2過年度分給食費年度別納入状況調書及び不納欠損処分内訳調書、・平成28年度江別市学校給食会計決算書（支出）、・平成28年度江別市学校給食会運営事務会計決算書（収入）・平成28年度江別市学校給食会運営事務会計決算書（支出）」
- ・監査報告書

参考として、3月28日に開催した平成28年度第2回学校給食会理事会で配布しました

- ・平成29年度江別市学校給食費算定資料をお配りしております。

不足等はありませんでしょうか。

(不足等なし)

【議事】

○事務局長

これ以降の議事の進行につきましては、野田理事長、よろしくお願いいたします。

○理事長

それでは議事に入ります。

報告事項第1号平成28年度江別市学校給食会計決算についてと報告事項第2号平成28年度江別市学校給食会運営事務会計決算についてを事務局より一括説明願います。

○事務局長

私から、報告事項について、ご説明いたします。

報告事項第1号と第2号は、2つの給食会計の決算報告であり、3月の理事会において見込額として報告したのですが、今回は確定した決算数値を説明させていただきます。

それでは、「報告事項第1号、平成28年度江別市学校給食会計決算について」ご説明いたします。

1ページの「平成28年度江別市学校給食会計決算書（収入）」をご覧ください。

前年度からの「繰越金」は、932万9,041円です。

「児童給食費収入」は、予算現額3億188万4,000円に対して、収入済額は、3億797万4,226円となり、609万226円の増となります。

「生徒給食費収入」につきましては、予算現額2億198万4千円に対して、収入済額は、2億106万6,196円となり、91万7,804円の減となりました。

それぞれの増減の要因としましては、「児童給食費収入」は、当初の想定よりも転入等に伴い児童数が増加したことによる食数の増加と収納率が当初の見込みを上回ったことによるものがあります。また、「生徒給食費収入」は、収納率が当初の見込みを若干ではありますが、下回ったことにより減となったものがあります。

なお、それぞれの収納率につきましては、2ページでご説明いたします。

「職員給食費」「父母試食費」は、ご覧のとおりとなっております。

前年度以前の未収金の徴収による「過年度収入」は、予算額383万3,000円に対して収入済額483万7,783円となり、100万4,783円の増となりました。

なお、過年度収入の内訳につきましては、3ページでご説明いたします。

雑入は、揚物で使用した廃食油を売払った収入で、3,768円でした。

学校給食会計の収入済額合計は、5億2,777万9,849円となり、当初予算額に比較すると、916万2,849円の増となりました。

次に、2ページの資料1「平成28年度江別市学校給食会計決算書（給食費収入現年度分）」をご覧ください。

「児童給食費収入」につきましては、調定額3億1,198万9,199円に対し、収入済額は、3億797万4,226円となり、収納率は98.71%。

「生徒給食費収入」につきましては、調定額2億572万5,518円に対し、収入済額は、2億106万6,196円で、収納率は97.74%となります。

なお、前年、平成27年度の児童給食費の収納率は98.52%、生徒給食費の収納率は98.00%でした。

「職員給食費」、「父母試食費」につきましては、ご覧のとおりとなっております。

給食収入現年度分の調定額の合計は、5億2,228万3,552円、収入済額は、5億1,360万9,257円、収納率は98.34%となります。

なお、平成27年度の収納率は98.33%でしたので、前年度よりわずかではありますが、0.01%増加しております。

次に、3ページの資料2、「過年度分給食費年度別納入状況調書及び不納欠損処分内訳調書」をご覧ください。

平成16年度から平成27年度までの各年度の未納給食費の調定額の合計、3,958万8,898円に対し、収入済額が483万7,783円となり、収納率は、12.22%です。平成27年度が13.77%でしたので、前年度より1.55ポイント低下しております。

⑤の不納欠損につきましては、可能な限り未納給食費の徴収に努めているところではありますが、

当会で把握している住所に居住実態がない、全く接触することができない等の85世帯について、398万6,444円の未納給食費を不納欠損処分としております。

なお、不納欠損処分後の⑥の未納世帯数は延べ549世帯となっておりますが、複数年度にまたがって未納となっている世帯がありますので、実世帯数は313世帯となっております。

次に、4ページの「平成28年度江別市学校給食会計決算書（支出）」をご覧ください。

こちらは、江別市学校給食会計の支出の決算になります。

米飯・パン・麺などの「主食費」の支出済額は、1億4,124万5,979円で、予算額に比べて99万4,979円の増となっており、野菜、肉や魚、調味料等「副食費」の支出済額は3億292万3,496円で、予算額に比べて、349万6,496円の増となりました。増となりました要因としましては、主食、副食ともに、小学校の児童数の増加によるもの等でありませ

ず。「牛乳費」の支出済額は7,998万325円で、予算額に比べて317万5,325円の増となっております。

平成28年度の牛乳単価は、予算策定時には判明していなかったことから、前年と同額の44円としておりましたが、確定した単価は、1円16銭上がっていたこと、及び、小学校の児童数の当初の想定より増加したことが、増となった要因であります。

「代替品費」は、集団風邪の発生等により給食を停止できた場合に、カステラ等の代替品を提供したのですが、平成28年度は、比較的学級閉鎖等が少なく、支出額は、35万3,667円で予算額に比べて72万6,333円の減となりました。

「公課費」は、消費税ですが、ご覧のとおりとなっております。

「償還金」は、過年度に遡って給食費に減額があった場合に生じますが、平成28年度においてはありませんでしたので、支出はございません。

学校給食会計の支出済額合計は、5億2,511万2,667円となり、649万5,667円の増となりました。

表の下部分に記載しておりますが、先ほどご説明いたしました1ページの収入済額の合計5億2,777万9,849円から、支出済額5億2,511万2,667円を差し引いた266万7,182円が、平成29年度への繰越金となります。

次に、「報告事項第2号、平成28年度江別市学校給食会運営事務会計決算について」ご説明いたします。

5ページの「平成28年度江別市学校給食会運営事務会計決算書（収入）」をご覧ください。

「江別市からの補助金」ですが、当初予算額2億64万5,000円と同額が収入済となっております。

「雑入」はございませんので、収入済額合計は、補助金と同額の2億64万5,000円となります。

次に、6ページの「平成28年度江別市学校給食会運営事務会計決算書」をご覧ください。

「報酬」は、理事会及び監査に出席していただいた理事長・理事・監事への報酬であり、理事会と監査をそれぞれ2回開催いたしました。

「給料」は、給食会職員の給与です。事務職員2名、徴収担当員1名の計3名分となっております。

「職員手当」は、給食会職員の時間外手当と通勤手当です。

「共済費」は、職員3名と臨時職員1名の健康保険料・厚生年金保険料などの社会保険料の事業主負担分の支出です。

「賃金」は、臨時職員1名へ支払われるものです。

「需用費」は、印刷製本費及び事務用消耗品等の購入費です。予算額42万円に対し、事務用品その他の購入に不足が生じたため、委託料より14万4,801円流用し、支出額は、56万4,801円となりました。

「燃料費」は、給食費の徴収担当職員が使用する車両の燃料費です。

「被服費」の支出は、平成28年度は、ありませんでした。

「役務費」は、給食費の口座振替収納事務手数料や郵便料金などの支出ですが、未納世帯に対する催告状の郵便料の増などにより、10万8,000円の不足を生じたため、委託料から流用し、支出額は144万6,838円となりました。

「委託料」は、給食費の徴収や収納に関する電算管理業務の委託料です。先にご説明した、需要費と役務費に流用した額25万2,801円を引いた、865万7,199円が予算現額となり、864万5,184円を支出しています。

「賃借料」は、徴収担当職員が使用する車両の借り上げ料です。

「負担金及び交付金」は、北海道社会保険協会への負担金です。

以上、「報酬」から「負担金補助及び交付金」までの給食会運営事務会計支出合計額2億33万6,810円となります。収入額2億64万5,000円との差額30万8,190円につきましては、江別市へ返納しております。

以上で報告事項の説明を終わります。

○野田理事長

事務局から報告事項の説明がありましたが、質疑につきましては、監査報告のあとに一括でお願いします。

それでは、会計監査報告を松下監事よりお願いいたします。

○松下監事

平成29年6月21日、江別市学校給食センターにおいて行いました監査の結果を報告いたします。

平成28年度江別市学校給食会計、学校給食会運営事務会計各々の収支状況及び決算につきまして、鎌田監事とともに書帳簿及び諸書類を照合するとともに、現金残高の点検を行った結果、諸書類と現金の収支が適正であり、出納残高も一致し正確であると認めました。また、江別市学校給食会が行っている学校給食費の決定及び徴収並びに給食物資の調達と支払については、会則等の規程に従い、適切に処理されていると認めました。

以上です。

○野田理事長

松下監事から監査報告がありましたが、先の報告事項第1号及び第2号と合わせて質疑ございませんか。

平成28年度から29年度の学校給食会計の繰越金は、2,667,182円ということですが、一昨年度から昨年度の繰越金は、6,457,000円ですが、この違いはどういうことでしょうか。

○事務局次長

3月の理事会では、平成28年度の繰越金が、360万円ほどであるとの見込みをお示しておりましたが、本日の決算報告では、100万円ほど減ったとの報告をいたしました。

繰越金の減の大きな理由としましては、牛乳費が先ほどご説明にあったとおり、昨年度の予算策定時の一本44円から、実際の単価は45.16円となったため、一本あたり1.16円がマ

イナスになり、牛乳費で300万円以上のマイナスとなったことが要因であります。それと、食料費が上がったことにより、繰越金を使ってしまったことが要因となっております。

○甲斐理事

過年度分給食費年度別納入状況について説明がありましたが、平成16年度分からの未納の給食費を集めていただいているという理解でよろしいのですよね。

ということであれば、これは、何年間請求できるということがあるのか、あるいは、未納の状況が続いているのであれば、ずっと請求することができるのか、教えていただければありがたい。

○事務局次長

基本的には民事債権時効が2年ということで、取り扱っております。これは2年間こちらから全くアプローチをしない場合、2年間で時効が成立してしまうということです。2年以内に文書、または電話による督促を行っているものであります。平成16年度となりますと、かなり古いものではあります。月々数千円でもお支払いをいただいているケースもありますので、引き続き徴収に努めていくものであります。

○甲斐理事

大変ご苦労なことだとは思いますが、そのように努力していただいていると理解しました。

○理事長

時効を申し出られた滞納者の方は、これまでであったのですか。

○事務局次長

時効の成立を申し立てる「時効の援用」の問い合わせは、1件だけありましたが、その方は、必要な書類を提出されなかったということで、時効は成立しませんでした。それ以外の方から、そのような申し出はないのですが、1年間に1回ですとか、2回ですとかというふうに、督促状を出したり、電話をしたりして何らかのお話をさせていただき2年間あかないような形にして、適正に徴収しているところです。

○理事長

江別の場合、学校で給食費の徴収をせず、給食センターが徴収しておりますので、どれだけ未納があるのかといった実態が学校ではわからない。担任の先生は、児童生徒の給食費の未納は把握していません。

8年前に全国的に給食費の未納が問題になり、裁判による支払が話題になりました。石狩管内ではないが、他管内では、裁判に訴えて給食費の未納を徴収しているところもあるが、それはあくまでも伝家の宝刀を抜くということになってしまいます。給食費の未納と子どもが給食を食べることとは関係ないことであり、それは別にして、親の責任で対応してほしいということでもあります。江別の場合は、給食センターの職員が徴収に当たっているが、生活が苦しい訳ではなく、規範意識が欠如しているために、給食費を未払いの親が多いという実態がありましたが、ただ、最近本当に生活が苦しいために給食費を支払えないことも多いと聞いています。

給食費を半年、一年と滞納すると、それが雪だるま式に膨らんでしまい、小学生で5万円、6万円になってしまいます。それを給食センターの職員が、説得して支払ってもらっているという現実があります。

○服部理事

江別市の給食費の収納率は、他の市町村に比べると、どうなのですか。

○事務局長

石狩管内の他市の状況としましては、平成27年度の収納率としては、A市が97.59%、B市が98.77%、C市が98.68%、D市が98.60%、江別市が98.33となっています。

○大野委員

江別というと、石狩管内で札幌を除き一番人口が多いですから、金額が一番多くなっているものと思うのですが、そのところは実際どうなのでしょう。

○事務局長

これまでも取り組んでいるところではあるのですが、過年度の未納金がある中で、より取り組みを強化していかなければならないのは、現年度ですとか、1年、2年前といった近いところであると考えております。自分の子どもが学校を卒業してしまうと、支払っていただきにくいという状況になっています。過年度も含めて全ての未納金を収納するという努力はしなければいけないのは当然ですが、そういった部分により力をかけて収納率を高めるということに昨年度から取り組んでいるところであります。

○理事長

給食費の収納ではありませんが、江別市では、食材のトラブルのあるような納品業者とは取引をしていない。恵庭にいたときには、苫小牧のトラブルのある業者と恵庭市、千歳市は取引をしていた。そういったことがないということは、江別市は、危機管理の意識がしっかりしているという気がします。

○大野理事

学校側が絡んでいないところが給食費を徴収するにあたり、大変な部分なのかなと感じます。それこそ、先生方ができれば、もっともっと収納率が上がるのかなと思います。実際に学校側が絡まない以上、これ以上の収納は難しいというのが現状なのかなと思うのですが、昨日、他の市町村との集まりの中で、未納の保護者の方に教頭先生が動いて徴収ができたという話を耳にしたところです。

○理事長

それもいいとは思いますが、給食費の徴収は、学校の本来の仕事以外と考えます。

○甲斐理事

学校は学校で、教材費とかの徴収を行っているので、私としては、江別市のように、給食センターで徴収業務を行ってもらえることはありがたいです。

○服部委員

今年度の繰越金ですが、予算が6,457,000円のところ、決算が9,329,049円となっており、これだけの繰越金の中で、平成29年度への繰越金が2,667,182円になったとの説明があった。今年度、この繰越金で賄えるのかという不安があるのですが、そのところについてお聞きしたいです。

○事務局長

今年度は昨年度に比べて、繰越金が少ないので、食材の購入費用等に充てる額が少なく大変ではないかということだと思うが、確かに理事がおっしゃるとおり、繰越金が少ないと余剰の部分

がありませんので、その中で、栄養士が、栄養価に見合った食材を考え、苦労しながらメニューを考えていくという形になります。

○理事長

何かほかに質問はありませんか。

その他、質疑がなければ平成28年度江別市学校給食会計他1件の決算を承認することとしてよろしいですか。

○理事

了

○理事長

議事が終了いたしました。事務局から、「7. のその他」で何かありましたらお願いします。

○事務局長

次回の理事会は来年3月開催を予定していますので、よろしくお願いいたします。

○理事長

来年度は、消費税は上がる予定でしたか。

○事務局長

消費税が10%になるのは、平成31年10月と聞いています。

給食費の食材については、消費税が8%のまま据え置かれるという話もあるので、情勢を見守りたいと考えています。

○理事長

それでは、以上をもちまして、平成29年度 第1回江別市学校給食会理事会を終了します。皆さん、お疲れ様でした。